



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月29日

上場会社名 株式会社カワタ 上場取引所 東  
 コード番号 6292 URL <https://www.kawata.cc/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白石 亙  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理部門統括 (氏名) 藤坂 祐宏 (TEL) 06-6531-8211  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	3,818	△7.1	△16	—	137	△35.3	68	△47.4
2022年3月期第1四半期	4,111	△5.1	190	101.0	212	228.9	130	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 259百万円(△32.0%) 2022年3月期第1四半期 381百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	9.82	—
2022年3月期第1四半期	18.66	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	21,992	11,475	51.2
2022年3月期	22,036	11,322	50.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 11,263百万円 2022年3月期 11,124百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	20.50	—	20.50	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	23,000	25.1	1,520	99.8	1,470	62.7	1,000	84.9
								143.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年3月期1Q	7,210,000株	2022年3月期	7,210,000株
2023年3月期1Q	233,302株	2022年3月期	233,849株
2023年3月期1Q	6,976,193株	2022年3月期1Q	6,976,151株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、中国を除く主要国でのウイズコロナ政策への方針転換により経済活動正常化が進む一方、ウクライナ情勢の長期化や中国での厳格なゼロコロナ政策の継続など地政学的リスクが高まる中、資源価格の高騰や米国の金融引き締めが進行するなど、先行き不透明感が更に強まっております。

わが国経済も、ワクチン接種の普及とウイズコロナ政策の進展に伴う各種制限の緩和により景気回復基調が続いておりますが、半導体不足の長期化に加え、資源価格の高騰や円安等に伴う物価上昇などの景気下押し圧力もあり、先行き不透明な状況となっております。一方、設備投資の動向を知るうえで先行指標の一つである機械受注統計の推移を見ると、製造業の機械受注額は、2021年7～9月は12,700億円（前年同期比33.7%増）、10月～12月は13,014億円（同23.4%増）、2022年1月～3月は13,112億円（同24.2%増）、4月は5,013億円、5月は4,521億円と回復基調で推移しております。

このような環境下、当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大防止への対応として、引き続き各セグメントが属する国の状況に応じて時差出勤や在宅勤務等を実施しながら、プラスチック成形関連のコアビジネスにおきまして、品質の向上、納期の確守、新製品の開発等、競争力強化によるマーケットシェアの拡大を図るとともに、電池、食品、化粧品等の新規販売分野の開拓・拡大に注力してまいりました。

この結果、当第1四半期における受注高は前年同期比14億9百万円増（同28.8%増）の63億7百万円となり、受注残高は前年同期比50億7千4百万円増（同93.7%増）の104億9千万円となりました。一方、売上高につきましては、半導体不足に伴う部品の供給不足の長期化や中国のゼロコロナ政策による生産・販売活動の制限などにより前年同期比2億9千2百万円減（同7.1%減）の38億1千8百万円となりました。

損益面では、売上高の減少に伴う売上総利益の減少に加え、材料費を中心とした原価低減や諸経費の削減等に努めたものの、中国のゼロコロナ政策に伴う物流の混乱により工場の操業度が低下したこと等により売上総利益率が悪化（29.0%→28.5%）し、1千6百万円の営業損失（前年同期は1億9千万円の営業利益）となりました。一方、経常利益については1億4千1百万円の為替差益の計上等により前年同期比7千5百万円減（同35.3%減）の1億3千7百万円となりました。

特別損益では、投資有価証券売却益6百万円を特別利益に計上し、更に法人税、住民税及び事業税3千6百万円、法人税等調整額3千9百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比6千1百万円減の6千8百万円となりました。

日本におきましては、製造業の設備投資は緩やかな回復基調で推移しており、引続き日用雑貨や容器・物流関連、新素材・食品シート関連を中心とした受注は堅調に推移したものの、半導体供給不足による納期の長期化等により売上高は前年同期比2千7百万円増（同1.1%増）の25億3千1百万円にとどまりました。損益面では、売上総利益率は横ばい（25.9%→26.0%）であったものの、販売費及び一般管理費の増加を吸収するまでには至らず、営業利益は前年同期比4千4百万円減（同32.6%減）の9千1百万円となりましたが、セグメント利益（経常利益）は為替差益の計上等により前年同期比2億1千7百万円増（同141.9%増）の3億7千1百万円となりました。

東アジアにおきましては、引き続き電気自動車（EV）向けのリチウムイオン電池関連並びにスマホ・VR用レンズ関連の受注は堅調に推移したものの、半導体の供給不足等による成形機及び周辺機器の長納期化に加え、中国のゼロコロナ政策に伴い第1四半期後半から物流の混乱及び工場の操業度が低下したことから、売上高は前年同期比4億9百万円減（同29.5%減）の9億7千9百万円となりました。損益面においても、工場の操業度が低下したこと等により売上総利益率が悪化（27.8%→25.5%）したこと及び売上高の減少により売上総利益が減少したこと等により、営業損失が9千8百万円（前年同期は5千5百万円の営業利益）、セグメント損失（経常損失）が9千9百万円（前年同期は5千2百万円の経常利益）となりました。

東南アジアにおきましては、各国のウイズコロナ政策の推進のもと、設備投資は回復基調にあり、売上高は前年同期比6千7百万円増（同16.2%増）の4億8千5百万円となりました。損益面では、売上総利益率の改善（33.7%→35.1%）と売上高の増加に伴う売上総利益の増加等により、営業利益は前年同期比1千1百万円増（同136.4%増）の2千万円、セグメント利益（経常利益）は前年同期比7百万円増（同54.3%増）の2千2百万円となりました。

北中米におきましては、中米では自動車関連を中心とした需要は回復しつつあるものの、設備投資の回復までには至らず、売上高は前年同期比6百万円減（同13.6%減）の4千2百万円にとどまりました。損益面では、売上高の減少に伴う売上総利益率の減少等により、営業損失が2千3百万円（前年同期は1千6百万円の営業損失）、セグメント損失（経常損失）が1千1百万円（前年同期は1千5百万円の経常損失）となりました。

なお、報告セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

## (2) 財政状態に関する説明

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、仕掛品、原材料及び貯蔵品が増加しましたが、現金及び預金、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したこと等により1億3千万円減少し、164億7千3百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べて、建物及び構築物、土地が増加したこと等により8千7百万円増加し、55億1千8百万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて4千3百万円減少し、219億9千2百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、支払手形及び買掛金、未払法人税等が減少したこと等により1億6千7百万円減少し、67億8千万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べて、退職給付に係る負債が増加しましたが、長期借入金が増加したこと等により3千万円減少し、37億3千5百万円となりました。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1億9千7百万円減少し、105億1千6百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、利益剰余金、その他有価証券評価差額金が減少しましたが、為替換算調整勘定が増加したこと等により1億5千3百万円増加し、114億7千5百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、中国を除く主要各国のウイズコロナ政策の推進のもと、緩やかに回復基調が続くものと予想されま

す。  
わが国経済も、コロナウイルス変異株による感染拡大が懸念されるものの、ウイズコロナ政策のもと、コロナ禍からの正常化に向けた回復の動きが続くものと予想され、景気は回復基調を持続するものと見込まれます。また、製造業の設備投資も緩やかな回復基調で推移しており、プラスチック関連業界につきましても、需要は回復に向かうものと予想しております。

一方、世界を見渡しますと半導体不足に伴う生産調整や資源価格の高騰、ウクライナ情勢の長期化や中国における厳格なゼロコロナ政策等の地政学的リスクがサプライチェーンに悪影響を与えるなど、依然として先行き不透明な状況となっております。

かかる環境下、当社グループにおきましては、引き続き自動車関連業界における自動車の電動化、自動運転化、車体の軽量化等に積極的に技術や資源を投入するとともに、ウイズコロナの環境のもと、社会の環境変化に伴うタブレット、PC、スマホ、VR等の通信機器拡大、AI、IoT、5G等のデジタル化推進の動きへの的確に対応してまいります。また、既存市場、既存分野での販売拡大と収益力向上等に加えて新規市場や成長分野への事業展開の強化を中長期的に取り組んでまいります。世界レベルでの環境問題（脱炭素、使い捨てプラスチックの削減）に対しては、お客様の生産現場や自社の事業活動及びお客様の製造物を通じて社会に貢献し、透明性の高い企業統治（コーポレートガバナンス）等を実現していくことで経営基盤の強化とESG経営を強化いたします。世界全般的には経済は緩やかな回復基調にあり、現時点におきましては、2022年5月11日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,764,843	6,656,582
受取手形、売掛金及び契約資産	6,495,503	5,829,692
商品及び製品	613,859	690,705
仕掛品	1,040,159	1,391,290
原材料及び貯蔵品	1,235,660	1,441,451
その他	495,102	503,482
貸倒引当金	△40,394	△39,384
流動資産合計	16,604,733	16,473,821
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,140,359	2,185,742
土地	1,567,100	1,618,227
その他(純額)	524,038	554,829
有形固定資産合計	4,231,498	4,358,799
無形固定資産		
その他	542,133	564,296
無形固定資産合計	542,133	564,296
投資その他の資産		
その他	660,073	597,642
貸倒引当金	△2,107	△2,107
投資その他の資産合計	657,966	595,535
固定資産合計	5,431,598	5,518,631
資産合計	22,036,331	21,992,452
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,560,399	2,318,326
短期借入金	2,200,798	2,219,638
1年内償還予定の社債	18,750	—
未払法人税等	143,219	66,149
製品保証引当金	123,035	117,802
役員賞与引当金	52,656	13,470
その他	1,849,456	2,045,560
流動負債合計	6,948,315	6,780,948
固定負債		
長期借入金	2,590,002	2,565,028
役員株式給付引当金	13,850	13,850
退職給付に係る負債	932,610	959,052
その他	229,502	197,611
固定負債合計	3,765,965	3,735,541
負債合計	10,714,280	10,516,490

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	977,142	977,142
資本剰余金	1,069,391	1,069,391
利益剰余金	8,713,037	8,675,302
自己株式	△133,654	△133,187
株主資本合計	10,625,917	10,588,648
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	108,487	81,160
為替換算調整勘定	389,734	593,209
その他の包括利益累計額合計	498,221	674,370
非支配株主持分	197,911	212,943
純資産合計	11,322,050	11,475,962
負債純資産合計	22,036,331	21,992,452

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	4,111,001	3,818,382
売上原価	2,918,729	2,731,296
売上総利益	1,192,271	1,087,086
販売費及び一般管理費	1,001,276	1,104,032
営業利益又は営業損失(△)	190,994	△16,946
営業外収益		
受取利息	2,461	2,274
受取配当金	5,027	5,581
為替差益	17,939	141,403
固定資産賃貸料	3,330	3,329
その他	16,197	12,853
営業外収益合計	44,957	165,441
営業外費用		
支払利息	13,832	9,228
その他	9,479	1,779
営業外費用合計	23,311	11,007
経常利益	212,640	137,487
特別利益		
固定資産売却益	661	952
投資有価証券売却益	—	6,969
特別利益合計	661	7,921
特別損失		
固定資産除売却損	—	327
子会社清算損	4,535	—
特別損失合計	4,535	327
税金等調整前四半期純利益	208,766	145,081
法人税、住民税及び事業税	12,679	36,018
法人税等調整額	61,844	39,902
法人税等合計	74,524	75,921
四半期純利益	134,242	69,160
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	130,141	68,491
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,100	669
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△773	△27,326
為替換算調整勘定	248,152	217,837
その他の包括利益合計	247,378	190,511
四半期包括利益	381,621	259,671
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	371,537	244,639
非支配株主に係る四半期包括利益	10,083	15,031



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	東アジア	東南アジア	北中米	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	2,400,130	1,248,018	415,628	47,223	4,111,001	—	4,111,001
セグメント間の内部 売上高又は振替高	104,355	140,547	2,609	2,044	249,557	△249,557	—
計	2,504,486	1,388,565	418,238	49,268	4,360,558	△249,557	4,111,001
セグメント利益又は 損失(△)	153,606	52,989	14,522	△15,089	206,028	6,611	212,640

(注) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額(経常利益)との差額の主な内容は次のとおりであります。

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	206,028
セグメント間取引消去	6,611
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	212,640

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	東アジア	東南アジア	北中米	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	2,404,846	886,628	484,942	41,965	3,818,382	—	3,818,382
セグメント間の内部 売上高又は振替高	126,778	92,559	961	596	220,896	△220,896	—
計	2,531,624	979,188	485,903	42,562	4,039,279	△220,896	3,818,382
セグメント利益又は 損失(△)	371,514	△99,176	22,409	△11,550	283,196	△145,709	137,487

(注) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額(経常利益)との差額の主な内容は次のとおりであります。

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	283,196
セグメント間取引消去	△145,709
四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益	137,487

## 3. その他

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。なお、北中米には生産拠点が存在しないため、記載しておりません。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
日本	2,363,960	4.6
東アジア	916,423	△28.9
東南アジア	135,650	5.2
合計	3,416,035	△7.1

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 金額は販売価格によっております。  
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ② 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
日本	4,068,141	41.1	7,261,479	121.7
東アジア	1,839,247	19.1	2,819,130	64.7
東南アジア	362,688	△11.1	363,735	3.2
北中米	37,575	△39.8	45,693	△39.2
合計	6,307,652	28.8	10,490,039	93.7

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
日本	2,404,846	0.2
東アジア	886,628	△29.0
東南アジア	484,942	16.7
北中米	41,965	△11.1
合計	3,818,382	△7.1

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。